フランス現代思想研究会

立命館大学大学院
先端総合学術研究科
院生プロジェクト

2023
-2024

本研究会の目的は、フランス現代思想に関する文献を用いた講読会を通じて分野の知見を深め、研究者としてのスキルアップを目指すことである。具体的な活動内容としては、2023年6月から2024年2月にかけて、関連研究を行うメンバーによる月例の研究会を実施し、文献の講読とレジュメ作成を行い、発表形式で講読会を進めていく。さらに、秋学期は公開研究会を開催し、フランス現代思想を専門とする講師を招聘し、より専門的な講義とディスカッションを行う。

使用文献：ジル・ドゥルーズ／フェリックス・ガタリ著『カフカ〈新訳〉：マイナー文学のために』

小林卓也氏（大阪大学大学院人間科学研究科招聘研究員）の招聘を予定

代表連絡先
gr0583pr@ed.ritsumei.ac.jp

代表：北村公人（表象２回）
（ジャック・ラカン研究）

教員責任者：小泉義之

研究メンバー
立川宗一郎（表象１回）
（モーリス・ブランショ研究）
徳永怜（表象１回）
（ミシェル・フーコー研究）
濱中健太（表象６回）
（ジル・ドゥルーズ研究）
蛭間直人（表象３回）
（ミシェル・フーコー研究）

RITSUMEIKAN
UNIVERSITY